

記入例

第1号様式

3部提出

※水路の上越し施工をする場合は、十分に市土木管理課と協議を行うこと。

法定外公共物占用許可申請書

奈企第 号
令和 年 月 日

(あて先) 奈良市長

申請者 住 所 奈良市法華寺町264番地1
氏 名 奈良市公営企業管理者
池 田 修
電 話 (0742)34-5200
給排水課

下記のとおり、法定外公共物の占用を申請します。

法定外公共物の種類	国有水路
占用場所	奈良市 ○○町○○番地
占用目的	○○邸給水管引込工事のため
占用物件 (構造及び数量)	HIVP φ ○○ mm L= ○○ m 給水管 VLP(サヤ管) φ ○○ mm L= ○○ m
占用期間	許可日 ~ 記 年 入 月 し 日 な 日 間
工事の実施期間及び方法	許可日 ~ 分 秒 刻 ば 記 日 間
その他の事項	住 所 工 事 施 工 者 事 業 者 名 T E L

水路の上越し施工の場合は、
さや管の数量も記入する。

添付書類

- 位置図
- 現況写真
- 公図の写し
- 土地登記簿謄本又は、要約書
- 現況平面図及び現況縦横断面図
- 計画平面図
- 構造図及び諸詳細図
- 占用面積求積図
- 利害関係人の同意書
- 行政庁の許認可関係書類
- その他市長が必要と認める書類

法定外公共物占用同意書

令和 年 月 日

奈良市長
奈良市公営企業管理者 あて

(同意者) 利害関係者 (水利組合)

住 所
氏 名
連 絡 先

印

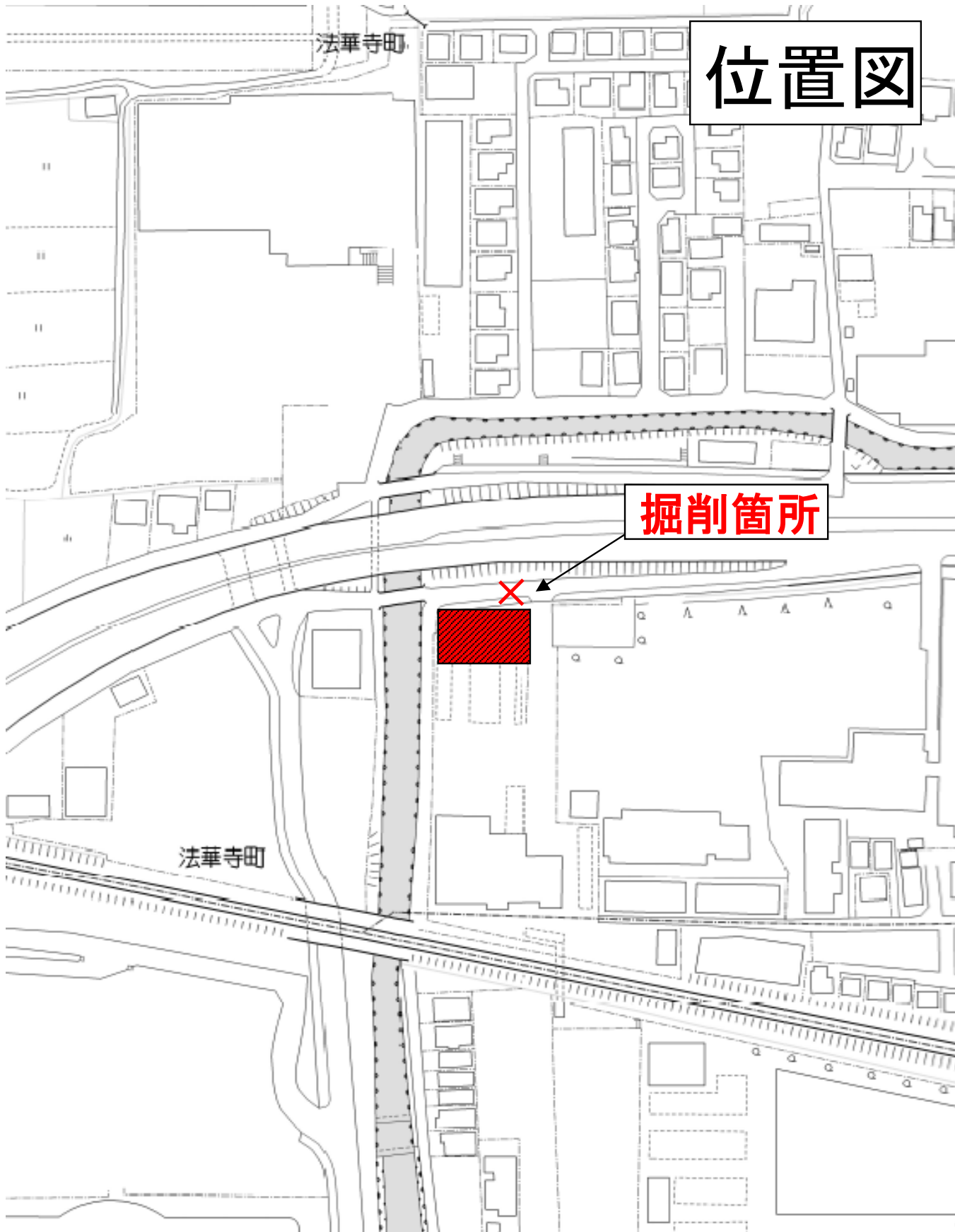
下記の法定外公共物について、占用することに同意します。

1. 法定外公共物の種類 国有水路
2. 占 用 場 所 奈良市 ○○町○○番地
3. 占 用 目 的 ○○邸給水管引込工事の為

水路の上越し施工の場合は、
さや管の数量も記入する。

4. 占 用 物 件
- | | | | | |
|-----|------|----|----|----|
| 給水管 | HIVP | φ | ○○ | mm |
| | | L= | ○○ | m |
| さや管 | VLP | φ | ○○ | mm |
| | | L= | ○○ | m |

位置図



掘削箇所

法華寺町

法華寺町

付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

○で囲む

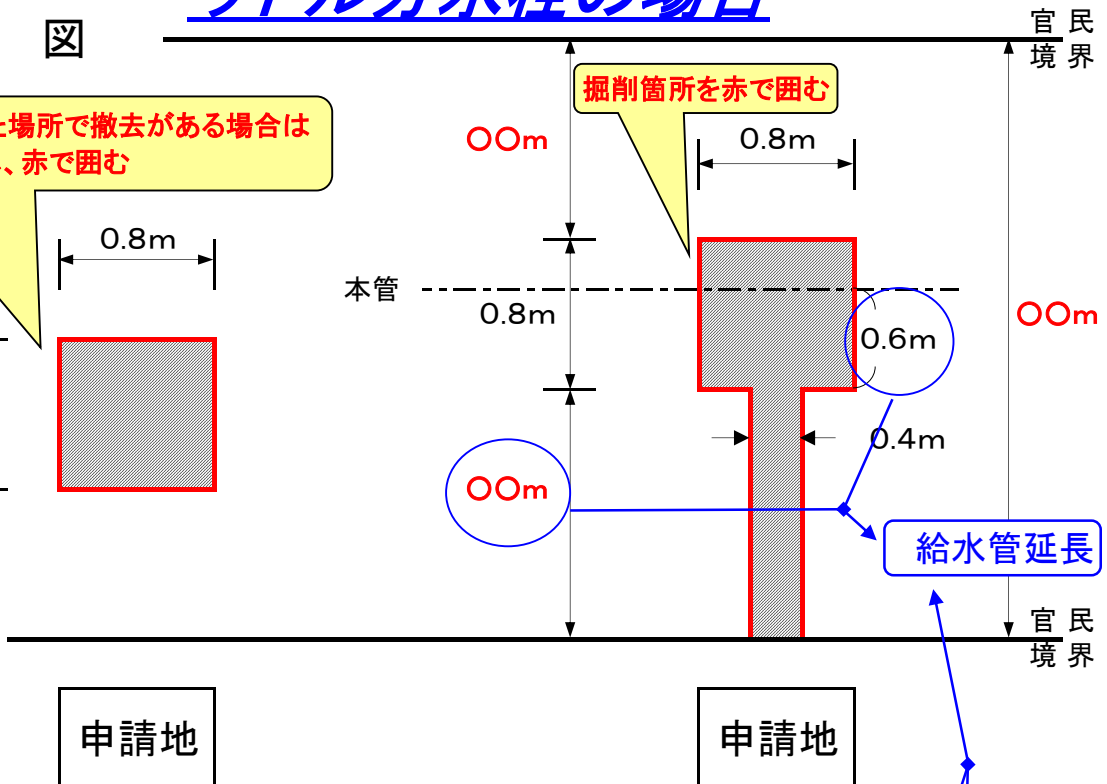
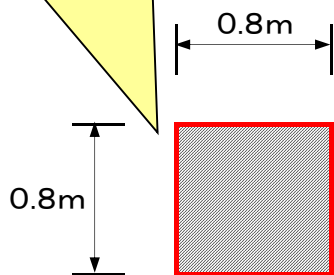
別紙住宅地図のとおり

※道路掘削占用
許可書に添付

サドル分水栓の場合

平 面 図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む

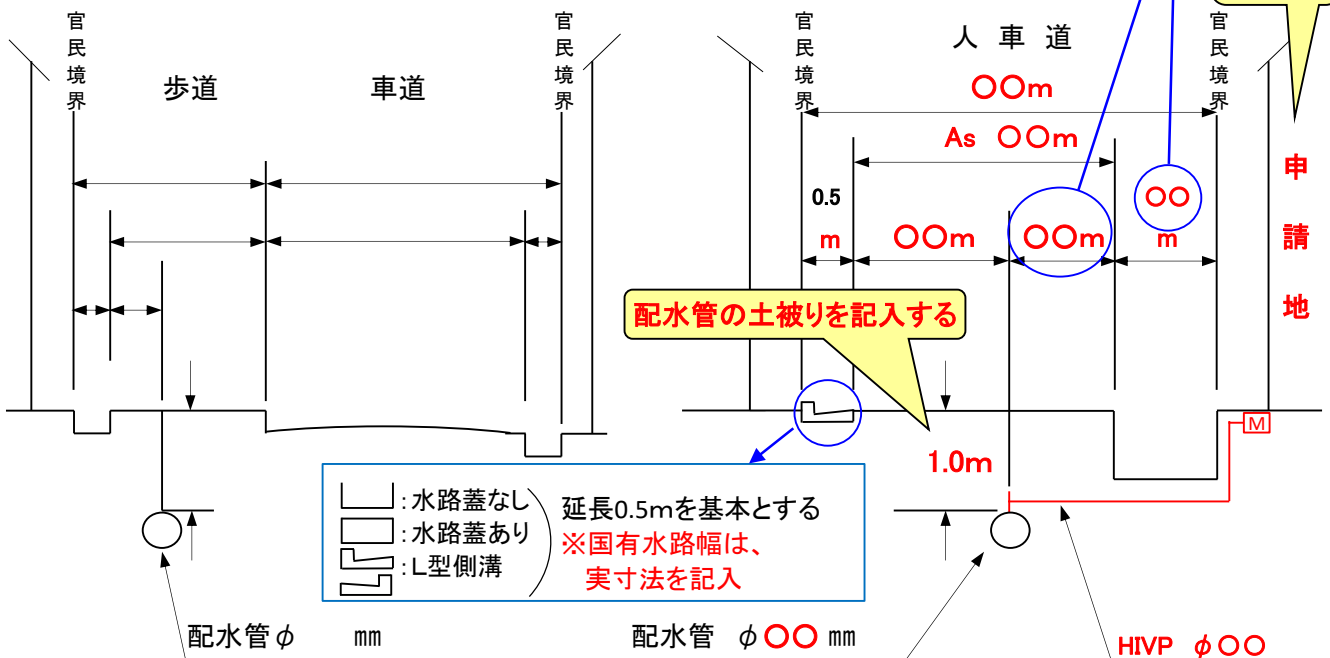


申請地

申請地

断 面 図

申請地を記入する



□: 水路蓋なし
 □: 水路蓋あり
 L: L型側溝
 延長0.5mを基本とする
 ※国有水路幅は、実寸法を記入

配水管 φ mm

配水管 φ 00 mm

HVP φ 00

申請地

付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

○で囲む

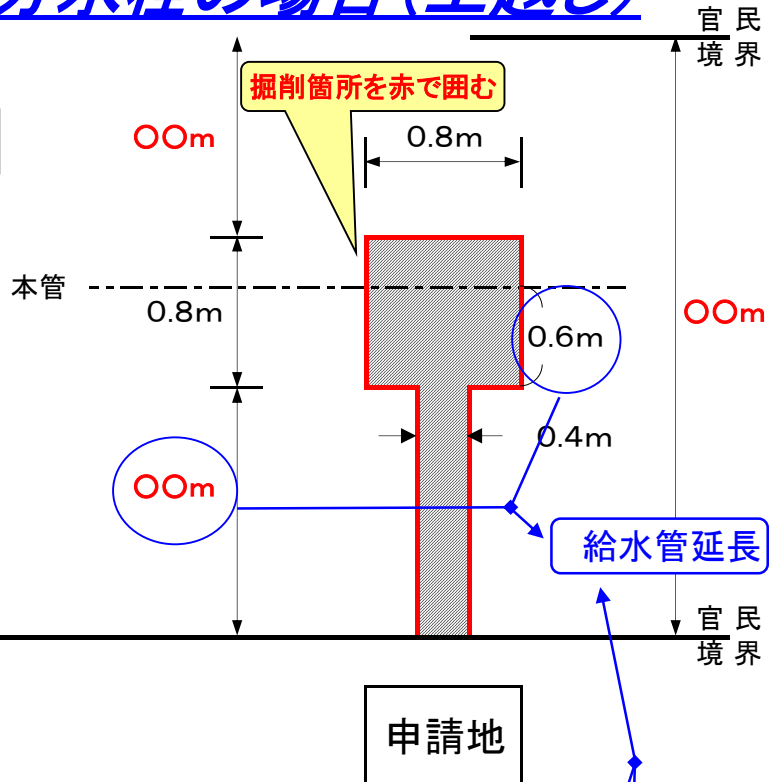
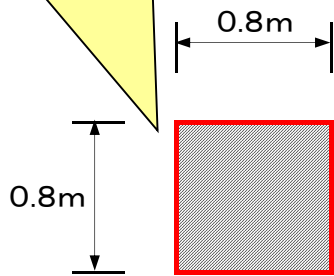
別紙住宅地図のとおり

※道路掘削占用
許可書に添付

サドル分水栓の場合(上越し)

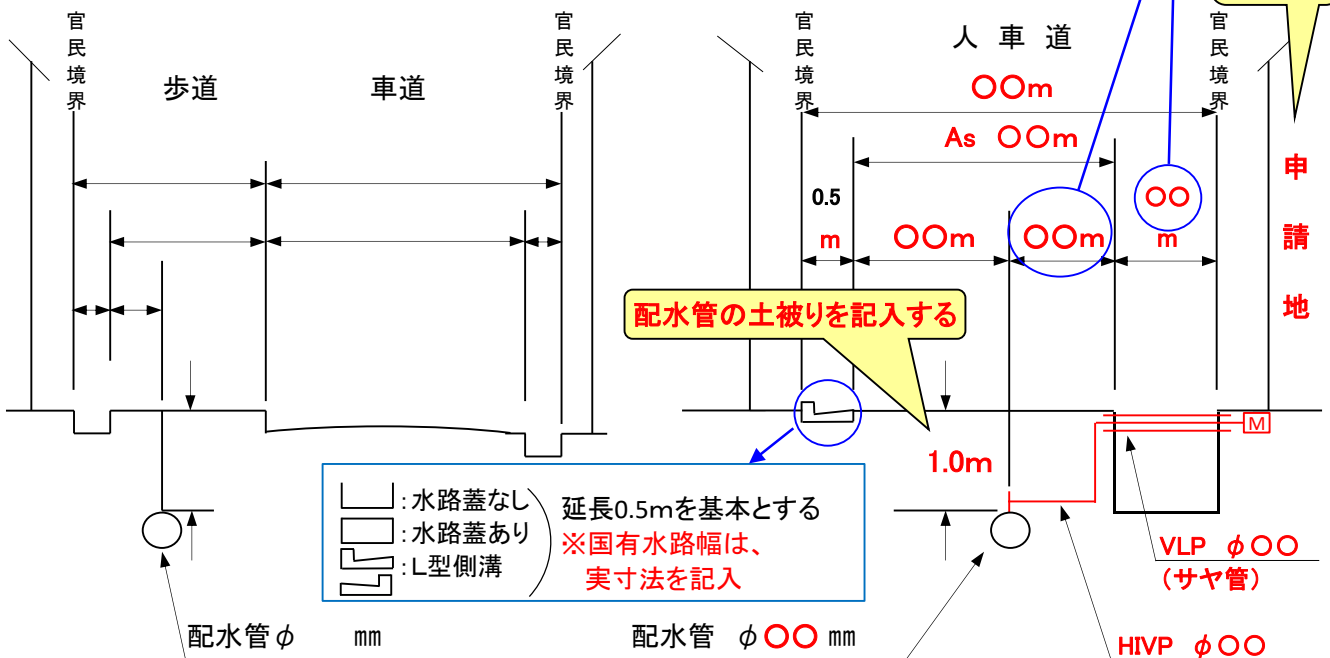
平 面 図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



断 面 図

申請地を記入する



付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

○で囲む

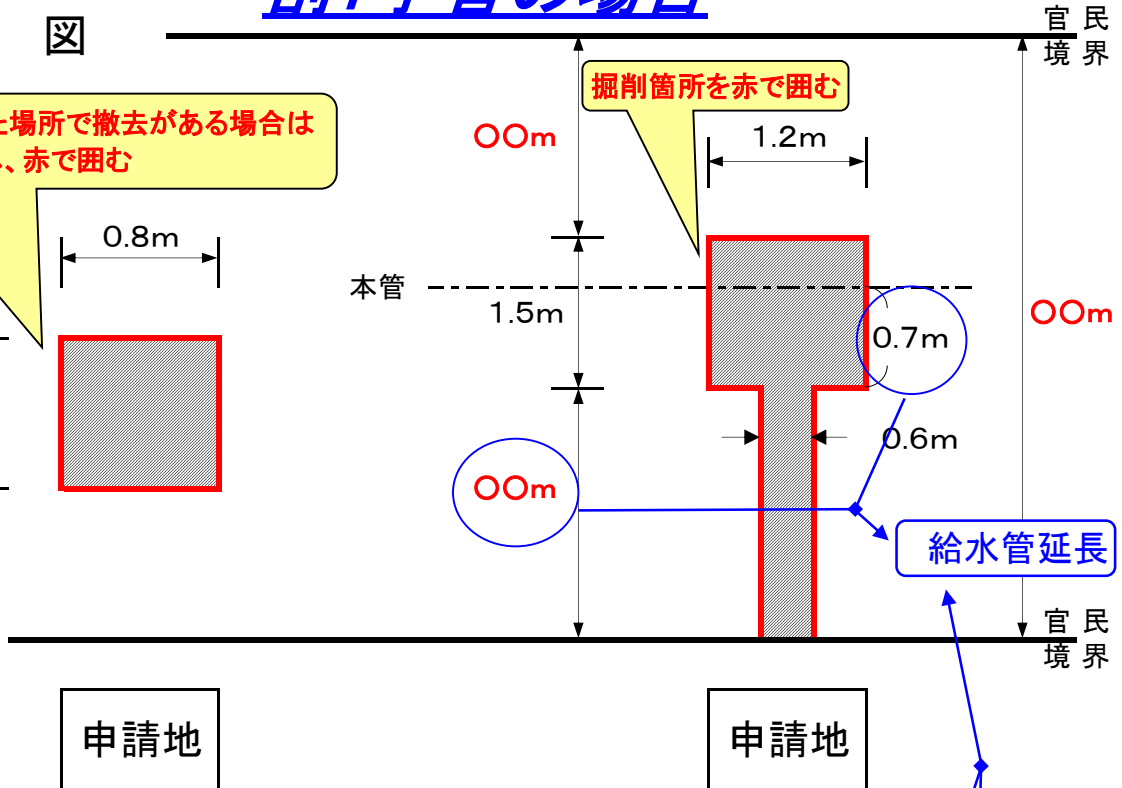
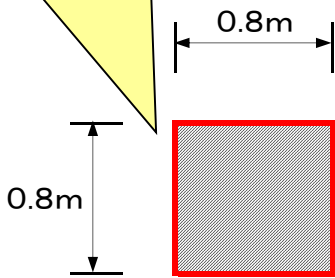
※道路掘削占用
許可書に添付

別紙住宅地図のとおり

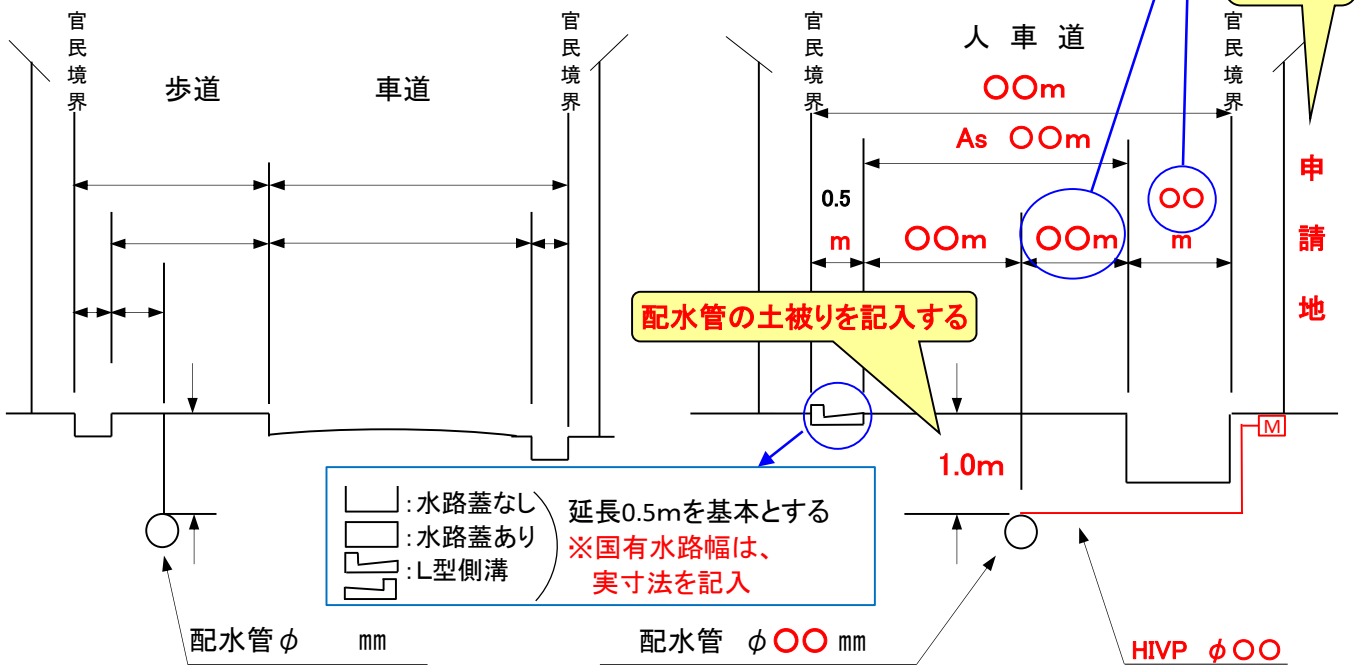
割T字管の場合

平 面 図

分岐と離れた場所で撤去がある場合は
寸法を記入し、赤で囲む



断 面 図



申請地を
記入する

配水管の土被りを記入する

□ : 水路蓋なし
 □ : 水路蓋あり
 □ : L型側溝
 延長0.5mを基本とする
 ※国有水路幅は、
 実寸法を記入

配水管 φ mm

配水管 φ OO mm

HVP φ OO

付 近 見 取 図 (車両通行止めの場合迂回路を明記)

交通規制・全面通行止・**片側通行**・一方通行・歩道規制

別紙住宅地図のとおり

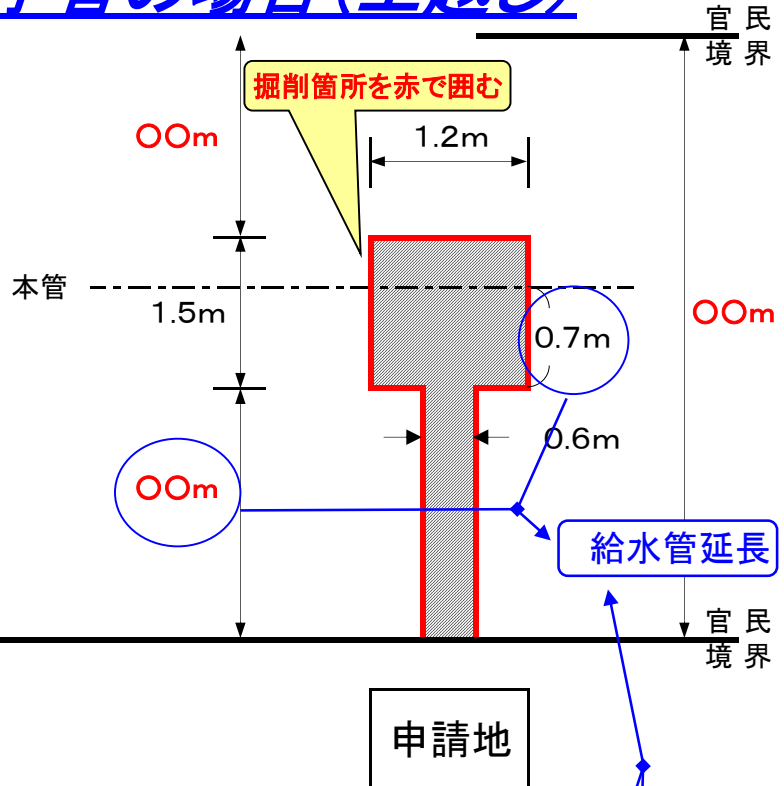
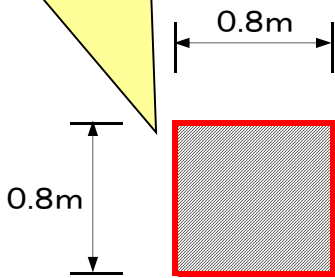
○で囲む

※道路掘削占用
許可書に添付

割T字管の場合(上越し)

平 面 図

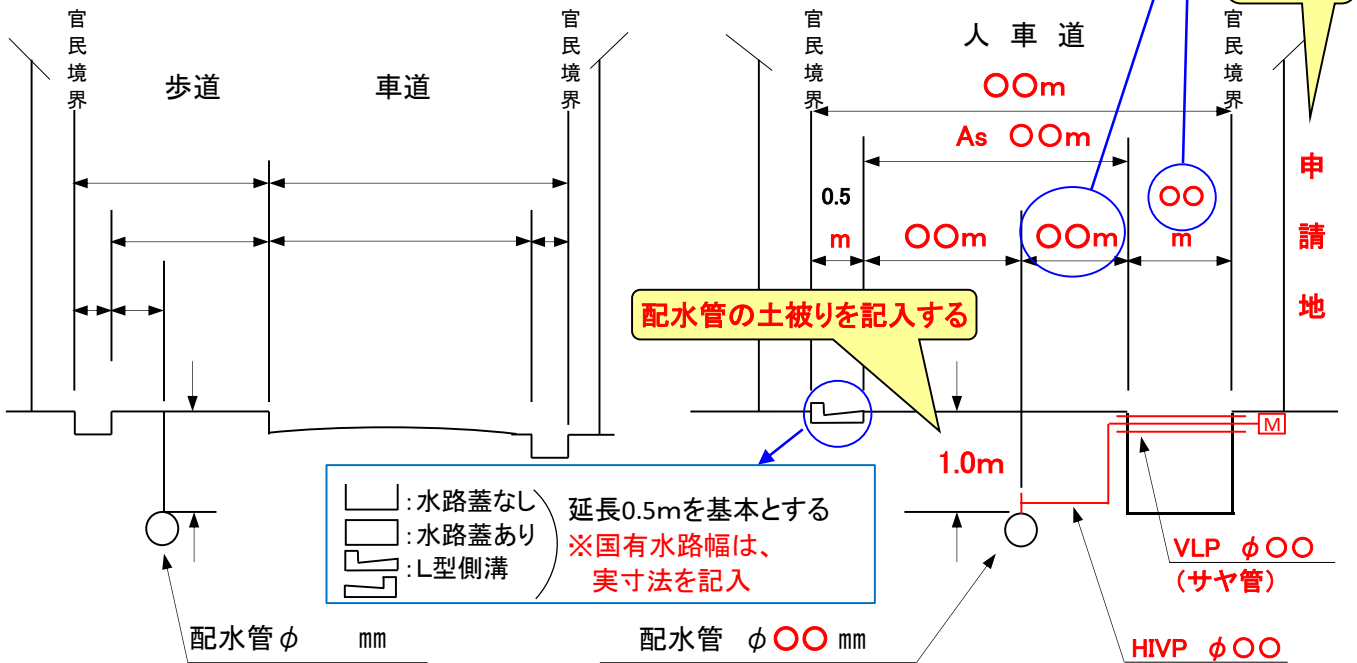
分岐と離れた場所で撤去がある場合は寸法を記入し、赤で囲む



申請地

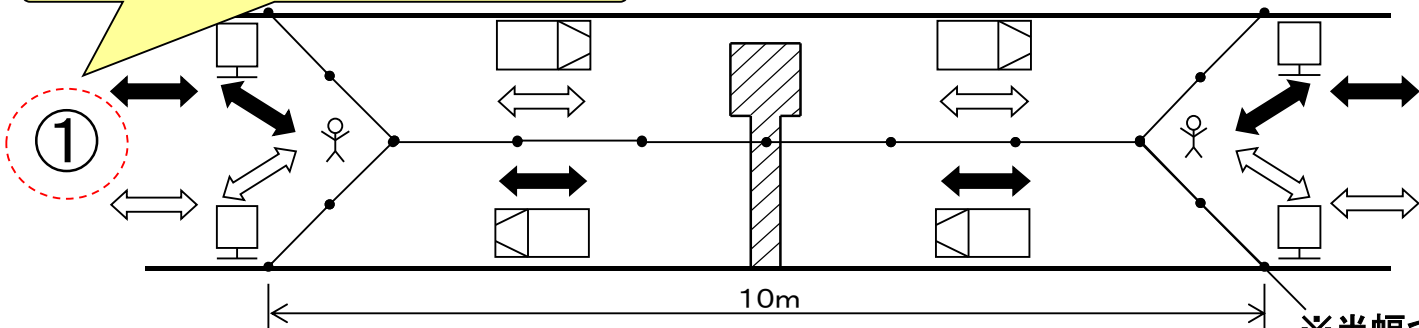
申請地

断 面 図



道路工事保安施設配置図

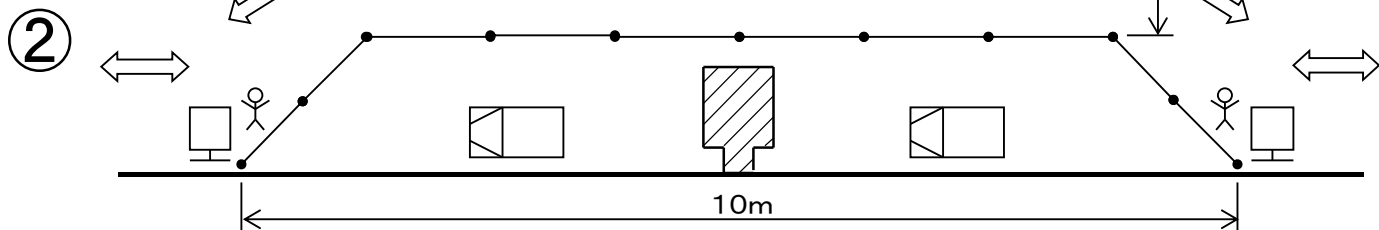
該当する保安施設配置図の番号を○で囲む



※該当する図が無い場合は別途作成すること。

大型車両の場合 片側通行幅2.0m以内は鉄板を使用

※半幅ずつ掘削し、片側交互通行とします。



※車両が通行できる延長を記入

※車両通行時は鉄板を使用し、通行を優先します。

『補足説明』



掘削箇所



工事車両



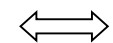
工事看板



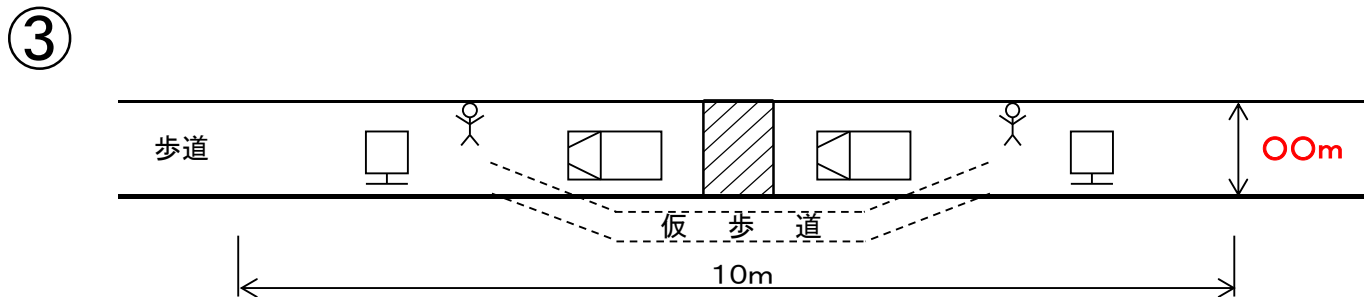
カラーコーン



交通整理員



一般車両



該当する保安施設配置図の番号を○で囲む

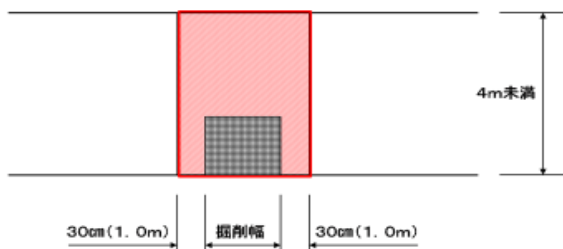
本復旧範囲図

①

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m未満の道路掘削は全て全幅復旧とする。

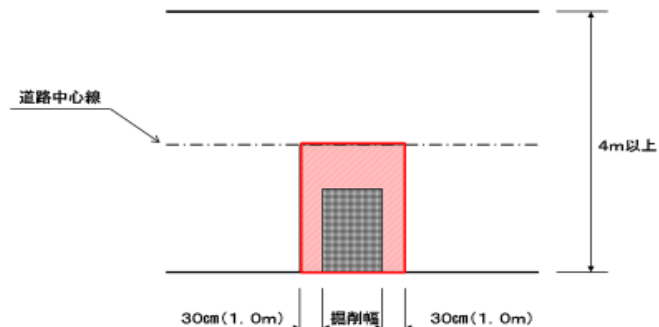


②

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えない時は半幅復旧とする。

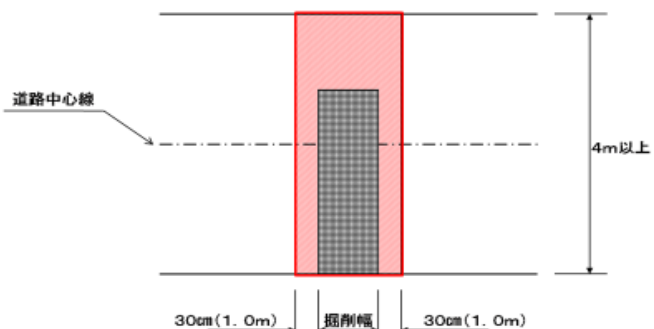


③

路面本復旧について

【市道】

- 掘削幅+影響幅30cm(両端)とする。
※新舗装(竣工から3年以内)は、影響幅1.0m
- 道路幅4m以上の道路で、掘削が中心線を越えるときは全幅復旧する。

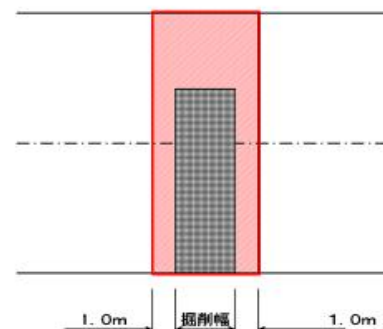


④

路面本復旧について

【市道】 保水性舗装

- 掘削幅+影響幅1.0m(両端)とする。
- すべて全幅復旧する。



※この「本復旧範囲図」に関しては、参考であるため実際の本復旧範囲については、道路管理者の許可条件を遵守してください。